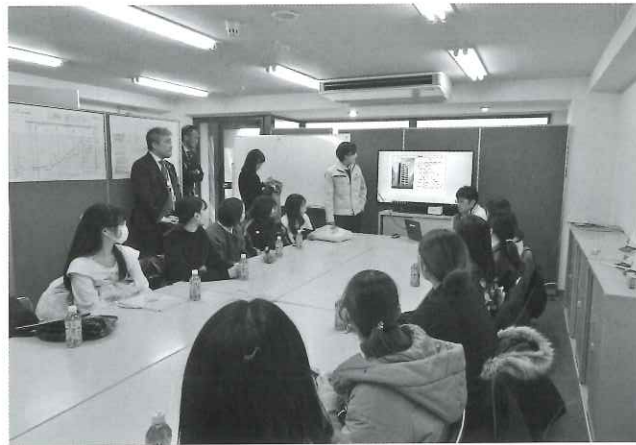


建築現場見学会&女性若手技術者との勉強会を開催

施工管理の魅力を感じて、設計志望でも現場経験を

当協会は2月28日、建築に関心がある女子学生を対象にした「建築現場見学会&女性若手技術者との勉強会」を開き、12人が参加した。建築系女子学生に人気が高い職種・部門は「設計」だが、ゼネコン技術者として「施工管理」を行っている女性監督の業務や仕事を離れたプライベートとライフプランについて率直な意見交換を通じて、「施工管理」「ゼネコン」「中小企業」などのキーワードに関心を持ってもらうのが狙い。中小ゼネコンの働き方に魅力を感じてもらうことへの期待もある。



午前を訪れたのは都営住宅新築工事現場。現場事務所では山中勇治朗現場所長が工事概要とともに、DXの現場導入の状況とその効果について説明。入社2年目の女性技術者、リー・イーリンさんも現場説明に立ち会った。



午後に訪れた現場は基礎工事中。説明をしたのは、入社6年目の梅木栞奈さん。監理技術者として従事する一方、社内で初の女性作業所長を目指して、現場の予算管理を勉強中。管理、図面、計画など全てに携われるやりがいを強調する。



現場見学①午前

昭和40～50年代に建てられた都営住宅の建て替え工事。最先端のDXを使って効率的に施工をしている現場。

主要用途：共同住宅 建築主：東京都

工事概要：鉄筋コンクリート造、地上6階建て、
延べ床面積3,164.27㎡

施工：株式会社第一ヒューテック（新宿区）

* 女性活躍モデル現場として女性の働きやすい環境を整備しています

現場見学②午後

省エネルギー、CO₂削減など環境に配慮した物件。入社6年目の女性技術者が「監理技術者」として従事。

主要用途：共同住宅

建築主：第一生命保険株式会社

工事概要：鉄筋コンクリート造、地上10階建て、
延べ床面積約1,100㎡

施工：日本建設株式会社（千代田区）

* 女性技術者は社内初の女性所長を目指します



第一ヒューテック
リー・イーリンさん



日本建設工事事務所
梅木葉奈さん



日本建設設計部
黒木優さん

女性技術者 現在地と今後

昼食後に開かれたのは、入社2年、6年、10年の女性技術者3人とのランチミーティング。建築専攻の先輩女性から今と今後についてそれぞれ話を聞くことができるのが特徴だ。女子学生からは苦勞したことなどへの質問が多かった。

リーさんと梅木さんは今後の目標を、「作業所長」と断言。梅木さんは後を追いかけて入社して



いる後輩の女性技術者に「背中を見せられるようにしたい」と話す。また入社10年、施工管理業務を経て第1子を出産、2年間の育児休業を経て昨年からは時短勤務の黒木さんは、「後輩たちがライフスタイルの変化を迎えても建築を仕事として続けられる環境と事例をつくっていきたい」とした。



第4・5・6支部 合同研修会を開催

講師は小宮一慶氏（小宮コンサルタンツ代表取締役）

当協会第4支部（歌芳明支部長）、第5支部（布戸隆多支部長）、第6支部（鈴木眞一支部長）は令和6年2月26日（月）上野精養軒において、会員の見聞と親睦を深めることを目的に合同研修会を開催した。経営コンサルタントの小宮一慶氏（小宮コンサルタンツ代表取締役）を招き、「日本を取り巻く経済環境の変化と経営の在り方」をテーマに講演が行われた。

小宮氏は数多くの企業のコンサルや、社外取締役として経験を踏まえ「経営の本質は、管理も大事だが方向づけが8割で最も重要」と前置きした上で、「経営には原理原則があり、これを守れるかどうか。原理原則とは、目標ではなく目的。なぜ（企業は）存在するのか。儲けは結果であり、儲け（目標）を目的化したら企業は疲れていく」と企業の存在価値を明確化する必要を強調した。

さらに日本経済の今後について、「注目は、インフレ率（消費者物価指数、2023年平均3.1%）

を超える賃上げができるかどうかだ」と指摘した。3.1%を超えなければ実質賃金は下落し、GDP（国内総生産）の5割強を占める消費支出にも影響を与えるのが理由だ。その上で小宮氏は世界経済の中の日本の立ち位置をさまざまな指標・統計で示し、「経営者は今後、金利上昇に備えるべき」と語った。研修会の後は懇親会を開催し、講師を交えて学んだ内容を振り返りつつ支部間の交流を深めた。

